

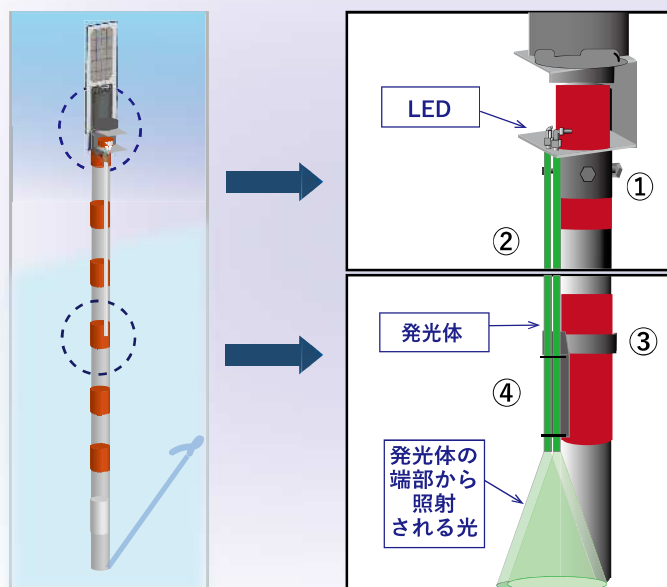
スノーポール設置型視線誘導標

発光体によるスノーポール注意喚起、積雪時の視認性を向上

安全設備



発光の原理



取付方法

- ① 太陽電池と LED が組み込まれた上部取付金具を、スノーポールの上部にボルト 3 本で固定します。
- ② 発光体を LED に差し込みます。
- ③ 下部取付金具をバンドで固定します。
- ④ 発光体の下部を、取付金具に差し込みします。

夜間発光状況



本製品の特長

- ① 発光体の端部から LED を当てて発光体全体が光ります。LED 光を直視しないためグレアの障害が無く、ブルーライトによる人体への影響のない、目に優しい光を発します。
- ② 発光体の下端部から地面に向けて光が照射されるため、周辺も光ります。ぬけた光が雪面へ照射されることにより、雪に立体感が出て積雪を認識しやすくなります。
- ③ 発光体には直径 $\phi 8$ mm の導光樹脂線を 2 本使用し、高輝度発光を実現します。
- ④ 電源は両面受光型太陽電池を使用しており、積雪が積もりにくく、最大 12 時間点滅発光します。
- ⑤ 既設のスノーポールに、簡単に取付が可能です。



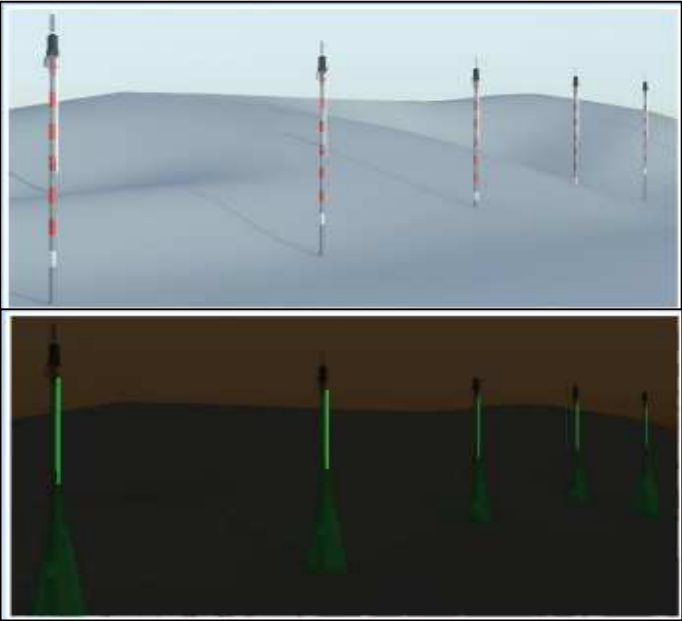
製品一覧

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

みち、ひと...未来へ。



設置イメージ

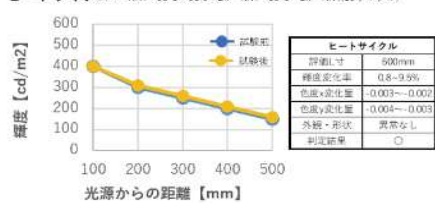


点灯状況

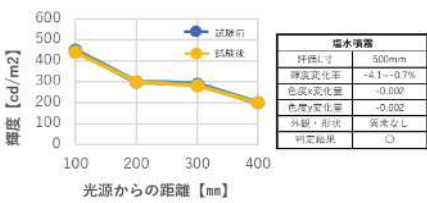


発光体性能試験

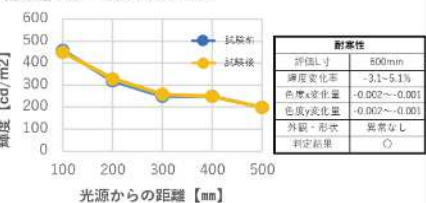
ヒートサイクル：R.T.→80℃・90%×2h→R.T.→30℃×2h→R.T.(10サイクル)



塩水噴霧：塩水噴霧：35℃・47%×8h→養生：35℃・47%×16h

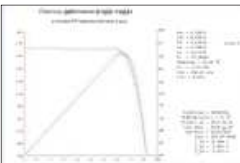


耐寒性：R.T.→-40℃×500h→R.T.

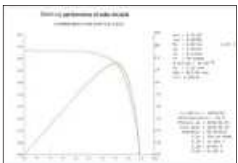


太陽電池鋼球落下による衝撃試験

- 試験条件
- ・鋼球質量：1.7kg/ 鋼球直径：75mm / 落下高さ：1.0m
 - ・衝撃時鋼球速度：4.427m/ s (15.937km/ h)
 - ・衝撃力：16.66 J



鋼球落下前 発電性能



鋼球落下後 発電性能

試験結果：外観と発電性能に変化はありません。



仕 様

項 目	仕 様
太陽光モジュール	両面受光型太陽電池セル使用（定格電圧 5V、定格出力 3.15W）
LED	2 個（発光体 1 本につき 1 個使用） 標準発光色：緑（その他の色も対応可能）
発光体	直径φ8mm、材質：コア部 アクリル系樹脂、クラッド部 フッ素系樹脂
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
動作	点滅時間：12 時間点滅（バッテリー満充電時に 3 日間無日照対応） 点滅間隔：点灯 / 消灯 = 0.5s/0.5s 点滅同期制御：電波時計方式